

経営比較分析表（令和5年度決算）

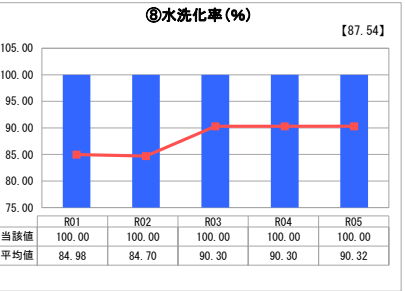
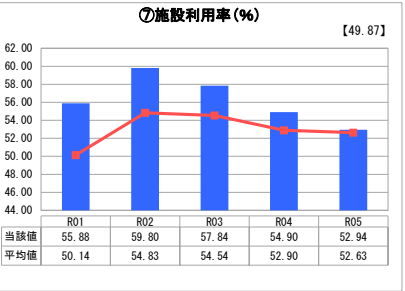
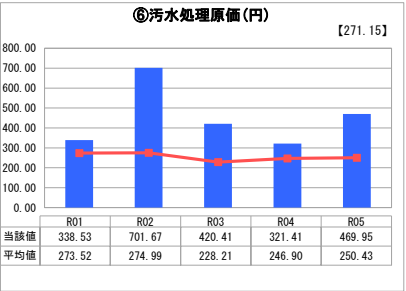
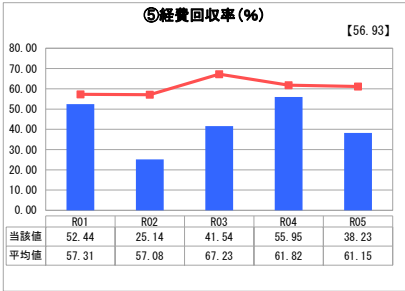
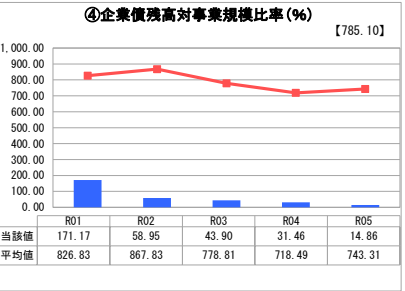
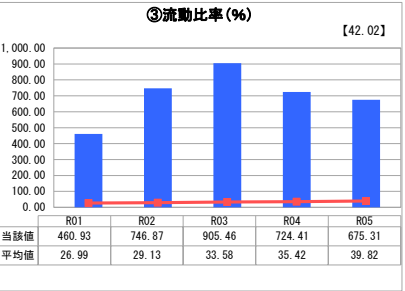
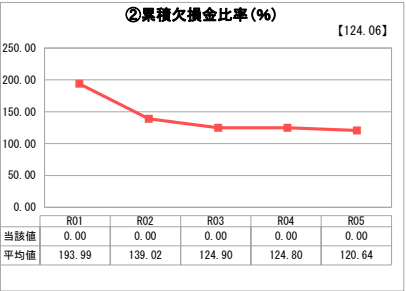
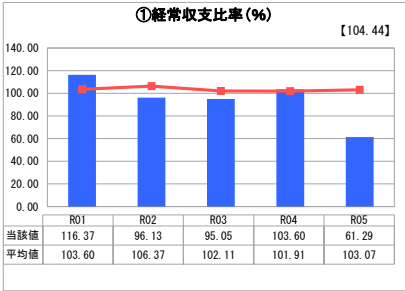
山形県 南陽市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	95.23	0.64	84.37	3,740

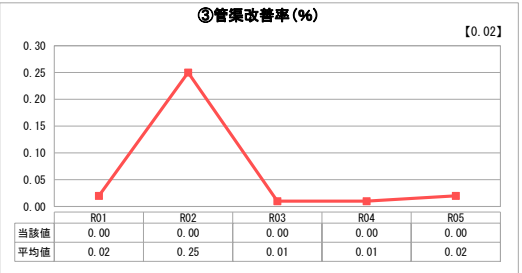
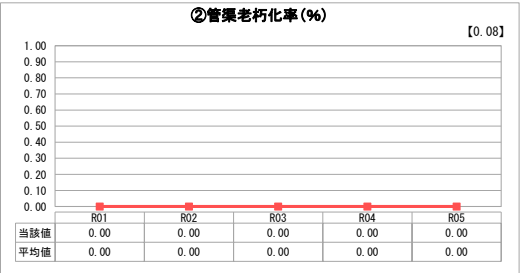
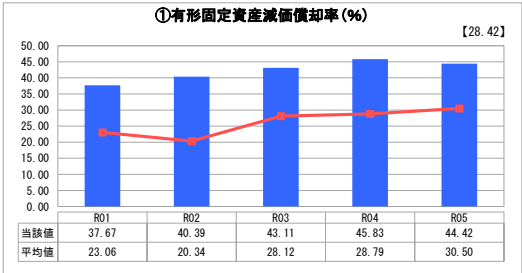
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,465	160.52	183.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
187	0.15	1,246.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値） — 類似団体平均値（平均値） 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水事業は、令和6年4月に公共下水道へ編入し、処理施設は廃止となります。施設除却の影響により、①経常収支比率⑤経費回収率が類似団体を下回る値となっています。
令和2年度をもって、施設建設に要した企業債の償還を完了しています。このため、③流動比率は類似団体と比べて高く、④企業債残高対事業規模比率も類似団体の値を大幅に下回っています。□

2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設は平成3年の供用開始から30年以上経過し、処理施設の老朽化が進んでいます。公共下水道統合により廃止となり、管渠は公共下水道事業で維持管理していきます。

全体総括

農業集落排水施設は、平成3年の供用開始から30年以上、地域住民の皆様のご協力のもと、経費削減に努め、一般会計からの繰入金を活用しながら、円滑に運営されてきました。しかし、施設の老朽化等が課題となり、より効率的な排水処理を行うため、令和6年4月より公共下水道に統合することになり、より安定した排水処理が可能となります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。